

くすふれ愛だより

4月号

【編集発行】
 玖珠地区コミュニティ
 運営協議会

【事務局】
 くすふれあいホール
 72-1511

コミュニティ主催

文化講演会の開催

三月二十一日、玖珠自治
 会館でコミュニティ文化講
 演会が開催されました。

講師に杵築市大原邸勤務
 の「野上 幸雄氏」を迎え、
 「生活文化にみる先人のち
 多」と題し講演をいただき
 ました。

「温故知新」故きを温ねて
 新しいきを知ること、昔か
 ら日本に伝わる習慣や文化
 が、深い独創性に富み驚く
 ほどの科学性も持つていて、
 それが現在につながってい



講師の野上幸雄氏

ることには目をみはるもの
 があります。

江戸時代、封建的でが
 じがらめというイメージで
 すが、実は識字率が世界最
 高で、産湯に水道水を使っ
 ていたのは世界中でも江戸
 だけだったそうです。

「お迎え三步で見送り七
 歩」のような礼に始まり礼
 に終わる日本人の心、貧し
 くとも心豊かな隣人愛など、
 最近私たちが少し忘れかけ
 ている「日本人らしさ」が
 あふれていた時代からの文
 化や習慣が、現在につながっ
 ているとのことでした。

また普段よく耳にする
 「夜爪を切るな」の言い伝
 えは「世詰め」世を詰める

からきている等、迷信とい
 われる言葉の由来など、わ
 かり易くお話していただき、
 会場の皆さんは熱心に耳を
 傾けていました。

地域づくり部会

「昭和の町」視察研修へ

三月十四日、コミュニティ地域づくり部会の活動の一環として豊後高田市の昭和の町へ視察研修を行いました。地域づくり部会員などと玖珠町役場担当職員の一、二十一名での視察となりました。

昭和の町研修レポート

武石 宮子

三月十四日、豊後高田市
 の昭和の町散策とロマン蔵
 を訪ねました。

今回は「昭和の絵本美術
 館」で故黒崎義介氏の「か
 ぐや姫の原画」の展示に接
 し、紙芝居もみせてもらい
 ました。

今日の視察のメインは



講演会会場のようす

取り組んだ。華やかな時代
 であった「昭和三十年代」
 をテーマに四つの再生を図
 り、商店街の魅力を高め活
 性化を目指した。

看板

- 一、建築再生（外観建築・
 - 二、歴史再生（一店一宝）
 - 三、商品再生（一店一品）
 - 四、商人再生（客と店主が
 向かい合い会話する商い）
- 旧高田農業倉庫を使った
 ロマン蔵の誕生である。

今後は、桂川の橋の向こ
 う側を高齢者が楽しい「お
 まち」の創造、交流施設を
 作って、お年寄りの集まる
 「いとおいしいおまち」を作
 るそうです。

「昭和の町について」の研
 修。観光まちづくりの担
 当者の話の内容は次のよう
 なものでした。

鉄道の廃止・社会の進展
 で国東一円の集客が厳しく
 なり、平成時代へ移り郊外
 大型店の進出により、商店
 街は衰退の一途をたどった。
 平成四年から地元有空店舗
 活用・昭和の町並み修景に



豊後高田昭和の町づくりでの研修のようす